

electro-harmonix

HOT WAX Dual Overdrive

Electro-Harmonix Hot Waxをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。Hot WaxはElectro-Harmonixの2つのペダル“Crayon”と“Hot Tubes”を組み合わせたユニークなデュアル・オーバードライブ・ペダルです。CrayonとHot Tubesというニュアンスの全く異なるオーバードライブ・セクションをそれぞれ独立して使用することも、同時使用でさらに激しいオーバードライブ・サウンドを作り出すことも可能です。ギターやベース、キーボードなど様々な楽器に対応する柔軟性と素晴らしいサウンドを備えたディストーション・ユニットです。

Hot Waxは、幅広いトーンコントロールを可能にするBASSとTRABLEの2つのEQノブと、ドライ音/ディストーションサウンドをミックスできる BLENDノブを搭載しています。この3つのコントロールは、どちらか一方もしくは両方のオーバードライブセクションがONになっている場合にアクティブになり、両セクションがOFFのときはバイパスされます。Hot Waxは標準的な9VDC駆動のバッファード・バイパス仕様となっています。

注意: HOT WAXにはElectro-Harmonix 9.6DC-200mAパワーサプライを使用できます。消費電流はセンターマイナスの9VDC使用で75mAです。間違ったアダプターを使用されますと故障の原因となりますのでご注意ください。また、間違ったアダプターを使用して故障した場合は保証対象外となります。

— USING THE HOT WAX —

付属のアダプターを9VDCジャックに接続して下さい。Hot WaxはディストーションのON/OFFに関わらず、信号を出力するために電源供給が必要です。Crayonフットスイッチを押すとCrayonセクションがONになり、緑色のLEDが点灯します。Hot Tubesフットスイッチを押すとHot TubesセクションがONになり、赤色のLEDが点灯します。

EQのBASSとTRBLE、そしてBLENDコントロールはどちらか一方、もしくは両方のセクションがONの時に使用できます。一方のセクションのみがONの場合、ONになっているセクションのVOLノブでマスターボリュームを調整します。両方のセクションがONの時:

- ・楽器からの信号は最初にCRAYONセクションに入力されます。
- ・CrayonセクションのVOLノブは、Hot Tubesセクションへの入力レベルを設定します。
- ・EQセクションはHot Tubes ディストーション・セクションの後段で動作します。
- ・BLENDノブはクリーンサウンドとEQセクション通過後の信号をミックスします。
- ・Hot TubesのVOLノブはマスターボリュームとして機能します。

— CONTROLS and I/O JACKS —

Footswitch and LED

右側の緑色のLEDは、CrayonセクションがONの時に点灯します。左側の赤色のLEDは、Hot TubesセクションがONの時に点灯します。

VOL ノブ(Crayon)

Crayonセクションのアウトプット・レベルを設定します。Crayon/Hot Tubesの両セクションがONの場合は後段のHot Tubesセクションへ送り出すレベルをコントロールします。

VOL ノブ(Hot Tubes)

Hot Tubesセクションのアウトプット・レベルを設定します。Crayon/Hot Tubesの両セクションがONの場合はHot Waxのマスターアウトプット・レベルコントロールとなります。

DRIVE ノブ(Crayon/Hot Tubes)

各セクションのディストーション量を設定します。

BASS、TREBLE ノブ

BASSノブは低域のカット/ブーストの調整を行います。TREBLEノブは高域のブースト/カットを調整します。いずれのEQコントロールもブースト/カットされていないフラットな状態は、ノブの可変範囲の中間のポジションです。

BLEND ノブ

BLENDノブはドライ音(原音)とウェット音(ディストーション)のミックスバランスをコントロールします。BLENDを最小値(反時計回りに回しきった状態)にした場合ドライ音100%となり、ディストーションサウンドは出力されません。最大値(時計回りに回しきった状態)にした場合はウェット音100%となり、ディストーションサウンドのみが出力されます。ドライ音とディストーションサウンドのミックスバランスは使用する状況に応じて調整できます。

BLENDを下げ、クリーンシグナルをミックスすることでよりパンチと明瞭感のあるサウンドを作りだし、ピッキング時のアタック音も際立ちます。この機能は極限まで歪ませたディストーションサウンドの中にパンチのある強烈なローエンドを生み出すため、ベーシストにとっては特に重要な機能です。

INPUT ジャック

楽器や他のエフェクターのアウトプットと接続する1/4" モノフォン・インプットです。インプット・インピーダンスは2.2MΩです。

OUTPUT ジャック

アンプや後続のエフェクターのインプットと接続する1/4" モノフォン・アウトプットです。アウトプット・インピーダンスは220MΩです。